



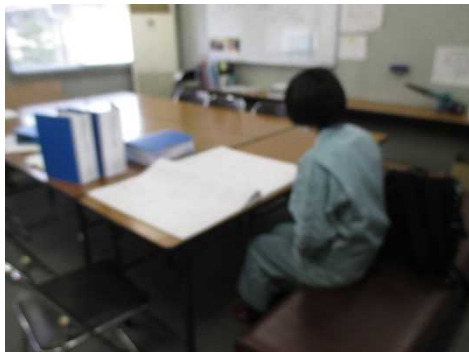
インターンシップ

10月25日(火)~27日(木)までの3日間2年生は、初日はあいにくの雨、残りの2日間は天候に恵まれたインターンシップへ出かけました。

普段授業で学んでいる知識や技術が就職後どのように役立つか。今後学んでいく知識や技術にどんな意味があるのか。また会社で働くとはどんなことなのか。会社とはどのようなところなのか。3日間という短い期間でしたが、少しは自分自身の将来をイメージができたと思います。

インターンシップ中にどんな方と出会い、どんな経験をさせていただきましたか。巡回指導を行ったとき、生徒に感想を聞いたところ、「普段学校で学んでいることが、実際に見学・体験でき良い経験になった。」「現場を見ることができて、楽しかった。興味がわいた」など様々な感想を聞きました。人それぞれに感想や感じたことがあると思います。しかしインターンシップを通して1年後の3年生になったとき、進路を決めるきっかけや手助けになった3日間であったことを願います。

最後に企業の皆様3日間インターンシップお世話になりました。



行事予定 10月30日(日): 第二種電気工事士(筆記) 31日(月): 高校生議会
11月2日(水): 創立100周年記念式典 4日(金): 体験的活動等休業日
今週末の大会等: テニス新人戦(団体)、ソフトテニス新人戦、卓球西部地区予選
バスケットボールウインターカップ県予選





夏休みを夏季休業日、冬休みを冬季休業日といいます。では家庭や地域で体験的な学習活動などを行うための休業日を何というか知っていますか。



新しい休業日を有効活用！

この休業日を「体験的学習活動等休業日」といいます。本校では今年、5月2日、6日そして11月4日と3日間設定しました。

平成29年に学校教育法施行令が一部改正され、この新たな休業日を設けることができるようになりました。そこで、鳥取県内の多くの県立学校では今年度から「体験的学習活動等休業日」を導入しています。この休業日を設定する趣旨は、地域における保護者の有給休暇の取得を促進することと合わせて、長期休業日の一部を学期中の授業日に移すこと等により学校休業日を分散化することで、児童生徒等と保護者等が共に体験的な学習活動等に参加すること等を通じて、児童生徒等の心身の健全な発達を一層促進する環境を醸成することを期待するものです。そのため、さまざまな活動に生徒が参加しやすいように「体験的学習活動等休業日」には全ての部活動を休みとしています。

生徒のみなさんにはこの休業日を活用して家族と旅行に出かけたり、普段できないことに取り組んで欲しいと考えています。また、地域でのイベントや地域に対して自主的にできることに取り組むのも良いでしょう。例えば、友だち同士で日頃利用している駅やバス停の清掃活動を行ったり、地域を散策してこれまで知らなかった地域の良いところを見つけたりする活動なども考えられます。

ワークライフバランスを見直すことが求められる昨今において、この休業日を導入する目的の一つには保護者の皆様に有給休暇を取得していただくことが含まれています。お忙しい毎日とは思いますが、お子様のこの休業日に併せて有給休暇を取得していただき、お子様との時間をつくっていただければ幸いです。

この休業日の活動をとおして、大人と子どもが触れ合いながら充実した時間を過ごし、鳥取の子どもたちが自己肯定感を高め、自らの手で未来を切り拓く力を育めるよう、学校、家庭、地域で協力して教育力を高めていくことを願っています。

保護者の皆様や生徒のみなさんには後日アンケートを実施し、この休業日へのご意見や活用状況を伺う予定にしています。

11月4日をどのように過ごされますか。良き1日としてください。

校長 松川 明義



【行事予定】11月2日(水)：創立100周年記念式典 (米子コンベンションセンター)

4日(金)：体験的学習活動等休業日

7日(月)～11日(金)：授業公開週間

今週末の大会等：マイコンカーラリー、バレーボール、ラグビー

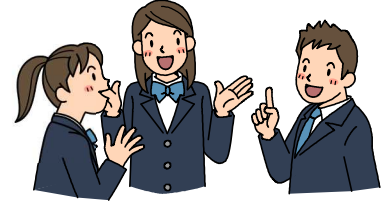


米工 HP



先週、米子工業高等学校創立100周年記念式典、生徒の素晴らしい発表による記念行事を終えることができました。関係する皆様には感謝申し上げます。卒業生の皆様には米工会という大きな組織でつながり、今後とも世の中の幸せを実現する実践家としてご活躍いただきますことを祈念しております。

米工会ヒストリー



さて、本校の同窓会を「米工会」と呼んでいますが、正式な名称をご存じでしょうか。正式な名称は「米子工業技術同志会」です。米工会発足のいきさつを紹介しましょう。

戦後、アメリカの指導により三つの原則が強く主張されました。それは学区制、男女共学制および総合制の原則です。学区制により米子市内の普通科では、通学区によって米子東高校か米子西高校か

が決められました。また、総合制により普通科と職業科をあわせた高等学校の設置が勧められ、職業科である本校も米子西高校と合併することになりました。

米子西高等学校と合併した際、新しい同窓会ができることでこれまでの鳥取県立工業学校時代からの卒業生と新しい学校での卒業生との関係が途絶えるのではないかと当時の関係者は心配していました。実際、新しく合併した学校では、それまでの同窓会との関係が中断した事例が報告されていたようです。そこで、当時の桑垣校長が、「工業に志望して、即ち志を同じくして入学したのであるから、学校の名称が変わっても、同志的統合するのは、差し支えない。元来同窓会の根本理念はそこにある。」と考えられ、米工役員会を招集し、役員幹部の賛同を得て同窓会の名称を「米子工業技術同志会」と改称することが決まりました。ただし、これでは名称が長すぎ呼称に不便との理由で、略称「米工会」と呼ぶことになりました。

表34 新学制実施の経緯一覧

	昭和21年度	昭和22年度	昭和23年度	昭和24年度	昭和25年度	昭和26年度
	●学校教育法施行 ●満13歳の属する学年末まで義務(昭和23年改正第79号) ●新制高等学校発足(学校教育法 別第96条) ●今年度末をもって青年学校廃止(施行規則第90条の2)	●満14歳の属する学年末まで義務(昭和23年改正第79号) ●新制高等学校発足	●満15歳の属する学年末まで義務 = 新制中学校完成	●今年度をもって旧制中等学校廃止(施行規則第90条の3)		
国民学校6年	小学校6年	中1(義務)	中1(義務)	中1(義務)		
国民学校高等科1年	中1(義務)	中2(義務)	中2(義務)	中2(義務)		
青年学校普通科1年	中2	中3	中3(義務)	中3(義務)		
中等学校1年	中等学校2年	中等学校3年	中等学校4年	中等学校5年(卒)		
国民学校高等科2年	中3	高1	高1	高1		
青年学校普通科2年	中3	高2	高2	高2		
中等学校2年	中等学校3年	高3	高3	高3		
中等学校3年	中等学校4年	高1	高2	高3		
中等学校4年	中等学校5年(卒)	高2	高3	高3		
中等学校5年(卒)	旧高等専門学校入学	高3	高3	高3		
					新制大学入学	新制大学入学

備考 1. 昭和22, 23年度においては、旧制中等学校に新制中学校を付設したものが多。
2. 昭和23, 24, 25年度においては、旧制高等学校に旧制中等学校を付設したものが多。文部科学省のHPから引用

校長 松川 明義

- 【行事予定】11月7日(月)~11日(金)：授業公開週間 8日(火)：中国電力発電所等見学 (E1)
9日(水)：人権講演会 (3年)、薬物乱用防止教室 (2年)
10日(木)：電気工事業界理解促進交流研修会 (C2)
12日(土)：中学生学校見学会
今週末の大会等：サッカー新人戦 (鳥取)、バドミントン新人戦 (鳥取)
全国ラグビー選手権大会予選 (米子)、卓球新人戦 (米子)
2級電気工事施工管理技術検定





米工 MAKERS

米工通信 第159号

令和4年11月11日

鳥取県立米子工業高等学校

担当者名 大森 教雄

11月2日(水)に米子コンベンションセンター 多目的ホールで在校生・教職員・来賓(同窓会、PTA など)約650名が参加し「創立100周年 記念式典・記念行事」を行いました。

創立100周年記念式典

□記念式典

亀井一賀 鳥取県副知事、伊木隆司 米子市長、佐伯啓子 鳥取県教育委員会委員など約100名の来賓を迎え盛大に開催しました。

◆式次第

- | | |
|----------|----------|
| 1 開式の辞 | 7 来賓紹介 |
| 2 国歌斉唱 | 8 祝電披露 |
| 3 黙祷 | 9 生徒代表挨拶 |
| 4 校長式辞 | 10 校歌斉唱 |
| 5 同窓会長挨拶 | 11 閉式の辞 |
| 6 祝辞 | |



□記念行事

①100周年のあゆみ

約10分にまとめたスライドを上映しました。大正12年(1923年)の開校当時の集合写真、戦前の実習の様子、寄宿舎の様子など貴重な写真を使用し作成しました。

②各科生徒発表

各科が課題研究で取り組んでいる内容の一部を発表しました。

◆発表内容

- ・機械科 「課題研究の取り組みや地域貢献活動の紹介」
- ・電気科 「競技用ロボットの製作」
- ・情報電子科 「防災・避難に関するものづくり」
～太陽電池を利用した、発電・蓄電・給電装置～
- ・環境エネルギー科 「廃プラスチックによる流出油処理剤の開発」
- ・建設科 「課題研究の取り組み」～創立100周年に向けて～



環境エネルギー科



情報電子科



③記念演奏

吹奏楽部員に教職員の有志を加え演奏しました。ポップスメドレーを約10分演奏したのち、1年生音楽選択者、2・3年有志、教職員有志を加え編曲した校歌を披露しました。



□おまけ

当日、来賓のみなさんに配布した記念品などです。在校生にはパンフレット(配布済み)、記念品(スマホスタンド)、不織布バックを配布予定です。



行事予定 11月12日(土)：中学生学校見学会

今週末の大会等：サッカー新人戦(鳥取)、バドミントン新人戦(鳥取)
全国ラグビー選手権大会予選(米子)、卓球新人戦(米子)
2級電気工事施工管理技術検定



米工 HP



創立100周年記念式典の式辞の中で校歌の成り立ちについて話をしましたが、説明できなかった裏話を紹介します。



校歌に込めた思い

最初の校歌は創立10周年の記念事業の一つとして制定されました。当時、その方法については名案が浮ばず悩まれたようです。プロに依頼すれば無難な校歌が出来ますが、そのための多額の費用はありません。そこで、当時の蔵田教頭が、米工に縁故のある人々から募集すれば費用はかからないし思いのこもった親しみ易いものが出来るかも知れないと提案されました。いざ募集してみると多数の応募があったのですが、部分的には大変優れていても全体的に見るとまとまりがなく、残念ながら校歌として相応しい作品はなかったそうです。それならばと、当時の大石聞二校長が米工職員の西方兵次先生に作詞を命じられ、応募作品の思いを忖度しながら西方先生が作詞されたのが最初の校歌です。

作曲は、当時義方小学校に勤務されており、後に大篠津小学校長になられ、さらに境高校の音楽の指導をされた松田稔先生に依頼しました。この校歌は、全国中等学校校歌作曲展に二等として入選する素晴らしい校歌となりました。

現在の校歌は米子西高校から独立する際、戦後の民主国家と教育方針に則したものを制定すべきであると職員会議で決定し、この時も学校と何らかの関係のある人をお願いしたいと検討しました。その結果、全国の歌詞募集で優秀賞を度々受けていらっしゃった下泰(しも ゆたか)さんが在校生の保護者であることがわかり、下さんなら米工の教育に対して理解があると考え、お願いすることになりました。下さんは当時後藤駅長でしたが、作詞が完成したときは大社駅長に異動されていました。下さんは本校以外にも近隣の小中学校の校歌を作詞されているようです。母校の作詞を調べてみてください。

次に作曲を誰に依頼するのか検討した結果、本校の寮歌の作曲を担当された実績から啓成小学校の音楽教諭野口萬吉郎先生に依頼し、校歌が完成しました。

最初の校歌を作詞された西方先生は、校歌に対する思いを次のように記されています。

「校歌が在校生諸子の信条として、望ましいばかりでなく、卒業生各位の信条でもあって欲しい。そして、みんながどんな苦しい時にも、悲しい時にも、校歌を歌うことによって、いつとはなしに、楽しく、明るい気分になり、又嬉しい時、よろこばしい時は、無意識のうちに、歌っているというようになって欲しいものだと、乞い願うのです。」

コロナ禍で校歌を歌う機会は少ないですが、米工生徒への思いが凝縮された校歌をいつまでも忘れず、卒業しても歌い続けてくれるようお願いしています。(⇒ [学校HPの校歌のサイトへのリンク](#))

校長 松川 明義



【行事予定】 11月16日(水)：人権LHR（3年）、性に関する指導講演会（2年）
18日(金)：防災避難訓練、計算技術検定

今週末の大会等：弓道中国新人大会（広島）、ウエイトリフティング新人戦（岩美）
サッカー新人戦（鳥取）



米工HP